

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和4年6月1日（水）

### 2 確認箇所

瓦礫類一時保管エリアW1

### 3 確認項目

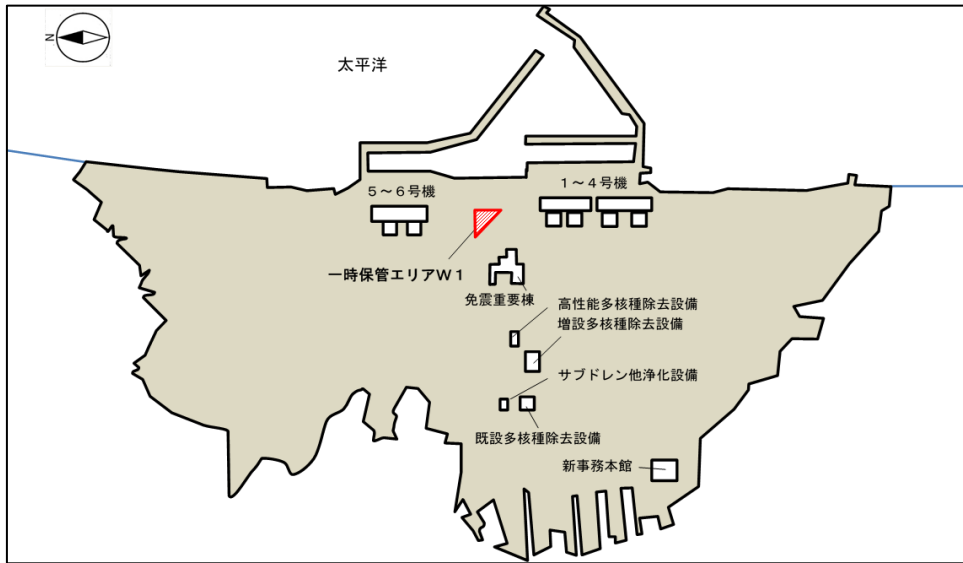
瓦礫類一時保管エリアW1における収納容器のシート養生状況

### 4 確認結果の概要

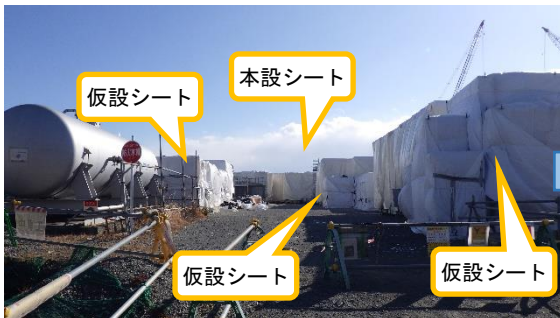
昨年7月、瓦礫類一時保管エリア（以下「一時保管エリア」という。）P2の排水枡において高い濃度の放射性物質（全ベータ放射能）が検出された。東京電力による原因調査の結果、一時保管エリアP2の収納容器（ノッチタンク）に蓋のずれがあることが判明し、収納容器内部の放射性物質が漏えいしたことによるものと推定されている。この事象を契機として、昨年7月～8月にドローンを用いた一時保管エリアの収納容器の天板調査が行われた。その結果、一時保管エリアXでは、ノッチタンクの蓋にずれが確認され、W1では、ノッチタンクの天板に穴があることが確認された。

これらを踏まえ、東京電力は本年3月までに飛散抑制対策（容器収納、シート養生）が必要な瓦礫類を保管している収納容器（ノッチタンク、コンテナ）の本設シート養生を実施した。今回は、飛散抑制対策が必要な瓦礫類を保管しているエリアの一つである一時保管エリアW1における収納容器のシート養生状況を確認した。（図1）（前回確認日：[令和4年1月12日](#)）

- ・前回確認時には仮設シートにより養生されていた収納容器を含め、エリア全体の収納容器に対して耐候性シートによる本設シート養生が実施されていた。（写真1）
- ・昨年7月に天板に穴があることが確認された収納容器付近の状況を確認したところ、前回同様、特に問題は見られなかった。（写真2）
- ・前回確認時に仮設シート養生を取り外す作業が行われていた収納容器を確認したところ、本設シートが設置されていた。（写真3）
- ・エリア周囲には、放射性物質の流出抑制対策として、側溝に沿ってゼオライト土のうが設置されていた。（写真4）
- ・エリア東側及び南側の一部の収納容器には、シート養生の上にネットが設置されていた。（写真5）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)  
一時保管エリアW1の状況(1)(前回(1月12日)西側から撮影)



(写真1-2)  
一時保管エリアW1の本設シート養生の状況(1)(今回(6月1日)西側から撮影)



(写真2-1)  
一時保管エリアW1の状況(2)(前回(1月12日)エリア北側を東側から撮影)



(写真2-2)  
一時保管エリアW1の本設シート養生の状況(2)(今回(6月1日)エリア北側を東側から撮影)



(写真3-1)  
一時保管エリアW1における仮設シート取り外しの状況(3) (前回(1月12日)エリア東側を北側から撮影)



(写真3-2)  
一時保管エリアW1の本設シート養生の状況(3) (今回(6月1日)エリア東側を北側から撮影)



(写真4)  
側溝付近のゼオライト土のう設置の状況 (写真右側がエリア内部)



(写真5)  
ネット設置の状況

- 5 プラント関連パラメータ等確認  
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。